

# 私をつくるもの

山岡小学校 6年 <sup>ひるた</sup>蛭田 <sup>かほ</sup>花歩

みなさんは、最近、ドキドキしたり、感動したりすることはありましたか。私はあります。それは、この「チームあかり」という本を読んで経験したことです。

本の中に、こんな言葉がありました。「人は持って生まれた能力と学習能力がある。」この言葉は、主人公で卓球部のミチルが、後輩への指導になやんでいる時に、卓球の上手な大地先輩から言われたものです。持って生まれた能力は変わらないけれど、学習能力は努力すればするほど増えてゆく。つまり、努力すれば何でもできるようになるということだと思いました。

この言葉をたよりに、私が努力したことは水泳です。去年は、水に顔をつけるのもこわくて全然泳げませんでした。そんな自分が嫌だったし、水泳も好きじゃありませんでした。でも、今年は、思い切って水にもぐってみました。すると、自然と体が水に浮くことに気付きました。そこから、水泳の練習が楽しくなってきました。この時、私が思い切れたのは、「今練習しなければ何も変わらない。でもやればできるようになるかもしれない。」と思ったからです。本から思い切る勇気をもらったおかげで、がんばることができました。このように本は、読む人に知識や感動、勇気を与えてくれるのです。私は、小さいころから本を読むのが好きで、たくさん本に出会ってきました。だから、頭や心の中には、本からもらった知識や思いがたくさん入っています。私をつくっているものは、本からもらったものだと言ってもおかしくないと思います。

しかし、最近、日本人の読書離れが進んでいるというニュースを耳にしました。原因の一つに、スマートフォンの普及があるようです。確かに、私の周りにも動画をよく見るという友達が多くいます。本を読むようにするためには、みんなが本のみりよくに気がつけばいいのだと考えました。

だから、私は、本のよさをみんなに伝えたいと思うようになりました。そして、今年、学芸委員長になり、読書をすすめるための活動をするようになりました。去年も学芸委員として活動し、本の貸し出し、本の紹介などをしていました。この活動によって、本の貸し出し数を増やすことができました。しかし、進んで本を読む人は、なかなか増やすことはできませんでした。

だから、今年は、「一人一人が自分から本を手取るようになる。」という目標を立てました。そして、目標を達成するために、今までの活動を見直し、新しく図書クイズや読み聞かせ活動を始めることにしました。その時に気をつけたことは、本を好きになってもらうために、みんなが楽しめる活動にすることでした。まず、図書クイズでは、問題を考える時に、どんな本をもとにするといいのか考えるようにしました。みんなが手取る本だけではなく、面白くておすすめしたい本などからも考えました。次に、読み聞かせ活動は、朝の読書タイムを使って行いました。この時も、本の選び方に気を付けました。低学年でも楽しめるように、みりよく的な絵本を選ぶようにしました。こうして、考えたりなやんだりしながら活動をして、みんなが喜んでくれた時には、大きな達成感を得ることができました。

この学芸委員長としての活動を通して、私は、将来、作家になりたいと思うようになりました。なぜなら、読者が読むのをやめられないくらい夢中になる本を書きたいからです。そして、その本を多くの人に読んでもらい、知識や勇気、感動をあたえたいと思います。夢をかなえるための一つのステップとして、まずは、学校みんなに本のみりよくを伝えていく活動を続け

ていきたいと思います。